

中村建設 SDGs宣言

当社は、「身近で起こっている困った問題を解決し、広く社会の発展に貢献できる企業」を経営理念として掲げています。当社理念は、国連が提唱する持続可能な開発目標「SDGs」の方向と一致しており、その理念を元に目標ガイドラインを定め、具体的な行動を行うことを宣言します。

社員全員が使命感を持って持続的に成長し、製品・サービスの提供を通じて社会的な課題を解決していくことに取り組んで参ります。



2020年 5月 1日
中村建設株式会社
代表取締役 中村 廣義



ゴール3 すべての人に健康と福祉を

ターゲット 3.9: 2030年までに、有害化学物質、並びに大気、水質及び土壌の汚染による死亡及び疾病の件数を大幅に減少させる。

当社は、工事現場や工場で発生する重金属汚濁水をろ過するシステムを製造・販売・レンタルし、地球環境の保全に貢献しています。



ゴール4 質の高い教育をみんなに

ターゲット 4.4: 2030年までに、技術的・職業的スキルなど、雇用、働きがいのある人間らしい仕事及び起業に必要な技能を備えた若者と成人の割合を大幅に増加させる。

当社は、ものづくり技術者を志して入社した若手社員に対し、先輩社員がしっかりと教育・指導を行うことで、各分野において次世代を担う技術者を育成し続けています。



ゴール5 ジェンダー平等を実現しよう

ターゲット 5.b: 女性の能力強化促進のため、ICTをはじめとする実現技術の活用を強化する。

当社は、クラウド型ファイル共有や、クラウド型社内管理システムを活用して女性が積極的に業務に推進できる体制づくりに取り組んでいます。



ゴール6 安全な水とトイレを世界中に

ターゲット 6.3: 2030年までに、汚染の減少、投棄の廃絶と有害な化学物・物質の放出の最小化、未処理の排水の割合半減及び再生利用と安全な再利用の世界的規模で大幅に増加させることにより、水質を改善する。

当社は、工事現場や工場で発生する汚泥を脱水・ろ過するシステムの製造・販売をしています。ろ過水は工業用水として再利用でき、汚泥は脱水ろ過によって大幅に減容化できます。



ゴール7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

ターゲット 7.1: 2030 年までに、安価かつ信頼できる現代的エネルギーサービスへの普遍的アクセスを確保する。

当社は、高効率な発電を実現した I G C C プロジェクトで水処理装置の開発・販売を行っています。

また、太陽光発電パネル・蓄電池システム等を活用した商品開発に取り組んでいます。



ゴール8 働きがいも経済成長も

ターゲット 8.2: 高付加価値セクターや労働集約型セクターに重点を置くことなどにより、多様化、技術向上及びイノベーションを通じた高いレベルの経済生産性を達成する。

当社は、顧客に喜んでいただける働きがいのある仕事や職場環境を社員に提供し、ワークライフバランスの推進と、健康経営によって働きやすい職場づくりを推進します。



ゴール11 住み続けられるまちづくりを

ターゲット 11.3: 2030 年までに、包摂的かつ持続可能な都市化を促進し、全ての国々の参加型、包摂的かつ持続可能な人間居住計画・管理の能力を強化する。

当社は、鉄道、道路、下水道等のインフラ整備や良質な建築物の新築と既存建築物の適切な改修による持続可能な都市づくりを行っています。



ゴール13 気候変動に具体的な対策を

ターゲット 13.1: 全ての国々において、気候関連災害や自然災害に対する強靱性（レジリエンス）及び適応の能力を強化する。

当社は、自然災害にも耐えうる強固な構造物の建設、素材の製造・開発、自然災害時でも使用できる太陽光パネルや蓄電システムによる監視システムの提供に取り組んでいます。



ゴール16 平和と公正をすべての人に

ターゲット 16.5: あらゆる形態の汚職や贈賄を大幅に減少させる。

当社は、法令を遵守し、汚職や贈賄の禁止、入札談合には一切参加せず、不正競争行為をしないよう社内教育を行っています。



ゴール17 パートナーシップで目標を達成しよう

ターゲット 17.17: ささまざまなパートナーシップの経験や資源戦略を基にした、効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する。

当社は、官公庁、大学、企業と連携しながら、新製品・新サービスの開発に取り組んでいます。